令和4年度　武生高等学校定時制　学校関係者評価書

（問）　・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
　　・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。
　　・その他

（意見を聞いた方）
　PTA会長1名　　副会長2名　会計監査2名
　教育振興会会長1名　副会長2名　　計8名

〇教育課程・学習支援・研修
・科学系やカルチャー系の雑誌を入れてもらい、生徒が読むようになっていることは喜ばしい。
・大学進学を目指す生徒が在籍する一方で、不登校歴が長い生徒も多いなど、一斉指導が難しい状況の中で、ICTを活用した指導の活用などを改善策の通り進めてほしい。
・支援を要する生徒（発達障がいや精神疾患）の増加を受けて、通級指導に積極的に取り組んでいることは評価できる。
・生徒が自分の特性を理解したうえで、対処スキルを学ぶ機会は貴重である。

〇生徒支援
・交通ルールを守ることができている生徒が100％というのはとてもよい。
・生徒心得を外国籍の生徒の在籍や時代の変化を踏まえて変えていくことは賛成である。生徒の人権を尊重しながら指導にあたってほしい。
・卒業年次に就職や進学の面接に臨めるように、メリハリをもって指導していってほしい。
・部活動での活躍もよい。特に、生活体験発表で全国大会に出場できたことはすばらしい。

〇進路支援
・地元の複数の人気企業への就職実績が近年増加していることは喜ばしい。
・将来のことについて保護者や教員とよく話しているという生徒の割合が 49% と低いことは、親としても反省する。改善していきたい。
・越前市役所も職業系の高校生に地元で就職してもらうために見学の斡旋をしているようだ。定時制も利用できるように検討してもらえるとよい。
・就職後の離職の状況をしっかり追って、進路支援に生かしてもらえるとよい。
・自分がかかわっている職場でも、職員が結構辞めていくようになってきた。世の中の価値観の変化も感じている。ただ、よりステップアップするための退職もあるのでマイナス面だけでもないように思う。

〇保健管理・保健教育・教育相談
・困っている生徒の救済を地域との連携で行っている「おにぎり食堂」の取り組みはすばらしい。生徒たちが書いた感想を読むと、生徒の居場所になっていることが伝わってくる。ぜひ次年度も継続・拡大していってほしい。
・教師やSC、SSW、養護教諭による相談体制を知っている保護者が88％であり、この先悩んだときは聞いてもらいたいと回答した生徒が94％である数字は、高いと思う。様々な事情の生徒の相談は大変だと思うが、充実した相談体制を維持してほしい。

〇全体（総括）
・昨年度までは書面での評価だったが、今年度から対面での話し合いができたことで、よい意見交換ができた。
・コロナ対策も緩和されてくれば、これまでよりも学校行事などにも参加し、生徒たちの様子を見せてもらいたい。

（学校関係者評価を踏まえた今後について）

・多様な生徒が在籍する本校で、生徒たちがそれぞれに社会自立に必要な態度・考え方を習得できるよう、各部が今年度の反省を踏まえた改善策を着実に実行に移していきたい。